

NEWS LETTER

14時30分解禁

平成24年5月 全国百貨店売上高概況

平成24年6月18日

I. 概況

1. 売上高総額	4,734億円余
2. 前年同月比	-1.0% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年4月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,292,619㎡ (前年同月比:-2.1%)
5. 総従業員数	85,344人 (前年同月比:-5.3%)
6. 3か月移動平均値	10-12月 -0.4%、11-1月 -0.6%、12-2月 -0.1%、 1-3月 4.0%、2-4月 5.1%、3-5月 4.7%

[参考] 平成23年5月の売上高増減率は-2.4% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

3か月ぶりに前年同月比マイナスとなった。

5月は、ゴールデンウィーク期間中の雨天や中旬の気温低下など、不安定な天候が集客に影響したことに加え、休日日数が前年に比べて2日減少(経験値による売上寄与度-3%~4%)したことなどが主な要因となって、前年実績を僅かに下回る結果となった。

一方、高級時計、宝飾品、輸入特選雑貨等の高額商材(美・宝・貴:+3.4%)は引き続き好調に推移したほか、大震災以降定着しつつある「絆消費」を背景に、子供の日や母の日などプライベートギフトも活況で、上記外的要因を除けば足元の商況に大きな基調変化は見られない。

その他具体的な売上要因としては、昨年震災後の復興需要で大きく伸ばした反動から仙台地区(-3.5%)が13か月ぶりに前年割れとなったこと、百貨店の新店を含む話題施設の相次ぐ開業で、全国的な注目を集めた東京地区(+2.1%)は引き続き好調に推移したこと、着実な回復傾向を示す訪日外国人は中国本土や台湾からの来店が増加し、売上・客数共に顕著な伸び(売上:+72.1%、客数:+144.0%)を示したこと、などが報告されている。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 東日本を中心に大気の状態が不安定となり所々で雷雨となった。特に6日は関東地方で竜巻が発生し大きな被害をもたらした。西日本は降水量が少なかった。気温は上旬が高温で中旬に低温となるなど変動が大きかった。

(2) 営業日数増減 30.8日 (前年同月比-0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日 (〃 -2日/日曜、土曜と祝日が重複・各1日減)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 25店、②変化なし: 36店、③減少した: 67店、④不明: 42店

(5) 5月歳時記(GW、子供の日、母の日)の売上(同上)

①増加した: 22店、②変化なし: 42店、③減少した: 43店、④不明: 63店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 27店、②変化なし: 80店、③減少する: 16店、④不明: 47店

全国百貨店 売上高速報 2012年05月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	473,438,587	100.0	-1.0 (-1.8)
10都市	310,214,711	65.5	-0.5 (-1.0)
札幌	11,733,524	2.5	-0.4
仙台	6,561,561	1.4	-3.5
東京	118,090,886	24.9	2.1 (1.3)
横浜	27,870,239	5.9	-0.8
名古屋	27,425,451	5.8	-0.5
京都	18,539,503	3.9	-1.3
大阪	61,457,545	13.0	-4.3
神戸	12,871,693	2.7	3.7 (-1.6)
広島	10,623,428	2.2	-4.0
福岡	15,040,881	3.2	-2.3
10都市以外の地区	163,223,876	34.5	-1.9 (-3.2)
北海道	2,567,072	0.5	-5.3
東北	8,277,222	1.7	-3.1
関東	78,570,111	16.6	-1.7 (-3.6)
中部	12,510,972	2.6	-6.9
近畿	16,002,397	3.4	-0.7
中国	11,361,792	2.4	-3.3
四国	8,480,939	1.8	-3.8
九州	25,453,371	5.4	1.3 (-1.3)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	473,438,587	100.0	-1.0 (-1.8)
紳士服・洋品	35,410,585	7.5	-2.2 (-2.7)
婦人服・洋品	109,689,336	23.2	-0.2 (-0.9)
子供服・洋品	13,152,925	2.8	-3.6 (-5.1)
その他衣料品	11,806,890	2.5	-2.5 (-2.9)
衣 料 品	170,059,736	35.9	-1.1 (-1.8)
身のまわり品	62,116,875	13.1	-1.7 (-3.2)
化粧品	27,446,886	5.8	3.5 (3.0)
美術・宝飾・貴金属	22,042,272	4.7	3.4 (3.0)
その他雑貨	18,522,832	3.9	-3.6 (-3.8)
雑 貨	68,011,990	14.4	1.4 (1.1)
家 具	6,133,778	1.3	-2.8 (-3.1)
家 電	1,798,631	0.4	16.7 (16.6)
その他家庭用品	16,737,375	3.5	-2.5 (-3.5)
家 庭 用 品	24,669,784	5.2	-1.4 (-2.2)
生 鮮 食 品	26,213,642	5.5	-4.2 (-4.9)
菓 子	30,202,613	6.4	-1.7 (-2.3)
惣 菜	27,324,885	5.8	-0.6 (-1.3)
その他食料品	34,752,480	7.3	0.0 (-0.9)
食 料 品	118,493,620	25.0	-1.5 (-2.3)
食 堂 喫 茶	14,287,506	3.0	-0.8 (-1.3)
サ ー ビ ス	5,531,742	1.2	-3.4 (-4.2)
そ の 他	10,267,334	2.2	-3.2 (-4.4)
商 品 券	13,734,259	2.9	-16.3 (-16.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -0.5% (店舗数調整後／3か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.9% (// ／2か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.5	-0.3	3か月ぶりマイナス
札幌	-0.4	0.0	2か月連続マイナス
仙台	-3.5	0.0	13か月ぶりマイナス
東京	2.1	0.5	3か月連続プラス
横浜	-0.8	0.0	6か月ぶりマイナス
名古屋	-0.5	0.0	3か月ぶりマイナス
京都	-1.3	-0.1	3か月ぶりマイナス
大阪	-4.3	-0.6	2か月連続マイナス
神戸	3.7	0.1	2か月ぶりプラス
広島	-4.0	-0.1	2か月連続マイナス
福岡	-2.3	-0.1	46か月連続マイナス
10都市以外の地区	-1.9	-0.7	2か月連続マイナス
北海道	-5.3	0.0	2か月連続マイナス*
東北	-3.1	-0.1	8か月ぶりマイナス*
関東	-1.7	-0.3	2か月連続マイナス
中部	-6.9	-0.2	2か月連続マイナス
近畿	-0.7	0.0	2か月連続マイナス
中国	-3.3	-0.1	2か月連続マイナス*
四国	-3.8	-0.1	3か月ぶりマイナス
九州	1.3	0.1	3か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が4か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品。また、美術・宝飾・貴金属が7か月連続、化粧品、家電が4か月連続のプラス、その他食料品が前年並となった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.0	—	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-2.2	-0.2	6か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-0.2	0.0	3か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-3.6	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	-2.5	-0.1	2か月連続マイナス
衣料品	-1.1	-0.4	3か月ぶりマイナス
身のまわり品	-1.7	-0.2	3か月ぶりマイナス
化粧品	3.5	0.2	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.4	0.1	7か月連続プラス*
その他雑貨	-3.6	-0.1	2か月連続マイナス*
雑貨	1.4	0.2	4か月連続プラス
家具	-2.8	0.0	10か月連続マイナス
家電	16.7	0.1	4か月連続プラス
その他家庭用品	-2.5	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	-1.4	-0.1	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	-4.2	-0.2	2か月連続マイナス*
菓子	-1.7	-0.1	2か月連続マイナス*
惣菜	-0.6	0.0	13か月ぶりマイナス*
その他食料品	0.0	0.0	3か月連続プラス*
食料品	-1.5	-0.4	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-0.8	0.0	3か月ぶりマイナス
サービス	-3.4	0.0	4か月ぶりマイナス
その他	-3.2	-0.1	3か月ぶりマイナス
商品券	-16.3	-0.6	15か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成24年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年6月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,180億円余
2. 前年同月比	2.1% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.3%(88.9%) : 非店頭0.5%(11.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	911,369㎡ (前年同月比:-0.8%)
6. 総従業員数	19,226人 (前年同月比:-0.9%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 -1.4%、11-1月 -1.7%、12-2月 -1.3%、 1-3月 6.1%、2-4月 10.2%、3-5月 11.3%

【参考】平成23年5月の売上高増減率は-4.3% (店舗数調整後)

【5月売上の特徴】

- (1) 東京地区の5月の入店状況は、天候不順と休日日数減の影響を受けたものの、各店が集客催事を積極展開したことで併せ、話題施設の相次ぐ開業で首都圏の観光地化が進んだこともあり、ほぼ前年並みの水準に留めることができた。
- (2) 今年のクールビズ商戦は、シャツや下着等の軽衣料だけでなくジャケット・スラックスもよく動いて購買単価が増加したことから、紳士売上全体を押し上げる結果となった。
- (3) 母の日ギフトは都内でも活況で、婦人アクセサリは多くの店で二桁増を記録した。また、今期の特徴として、母の日アイテムを自分用に購入するケースが増えている。
- (4) 東京地区の食料品売上は前年比3.0%増と好調に推移したが、その一つの要因として、北海道をはじめとした地方物産展の積極展開が寄与していると分析されている。
- (5) 6月中間段階までの商況は、前年の6月がプラスを記録していることに加え、中元商戦や父の日商戦の出足がやや出遅れていることなどから、前年同月比で概ね1~2%下回る水準で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 5店、②変化なし: 7店、③減少した: 7店、④不明: 1店
- (3) 5月歳時記 (GW、子供の日、母の日) の売上 (同上)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 7店、③減少した: 1店、④不明: 6店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 2店、②変化なし: 13店、③減少する: 4店、④不明: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年05月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	118,090,886	100.0	2.1 (1.3)
紳士服・洋品	10,937,662	9.3	3.1
婦人服・洋品	24,266,281	20.5	1.6 (0.9)
子供服・洋品	2,705,927	2.3	1.5
その他衣料品	2,160,989	1.8	0.4
衣 料 品	40,070,859	33.9	1.9 (1.5)
身のまわり品	16,749,737	14.2	4.0 (1.0)
化粧品	6,762,140	5.7	6.9
美術・宝飾・貴金属	6,292,906	5.3	5.0
その他雑貨	5,737,150	4.9	-3.6
雑 貨	18,792,196	15.9	2.9
家 具	1,921,679	1.6	4.0
家 電	1,078,873	0.9	68.6
その他家庭用品	4,319,596	3.7	-1.1 (-2.3)
家 庭 用 品	7,320,148	6.2	6.8 (6.0)
生 鮮 食 品	4,632,535	3.9	0.6
菓 子	7,368,569	6.2	4.5
惣 菜	6,250,244	5.3	4.5
その他食料品	8,206,060	6.9	1.9 (0.8)
食 料 品	26,457,408	22.4	3.0 (2.6)
食 堂 喫 茶	3,058,849	2.6	1.9 (0.8)
サ ー ビ ス	2,322,957	2.0	-9.1
そ の 他	3,318,732	2.8	-15.2 (-17.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	3,250,685 千円	-40.1 (-40.2)
従 業 員 数	19,226 人	-0.9
店 舗 面 積	911,369 m ²	-0.8

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、3か月連続で全品目がプラスとなり、衣料品、身のまわり品、家庭用品が3か月連続のプラス、雑貨と食料品が4か月連続のプラスとなった。その他の品目は、その他雑貨とその他家庭用品が3か月ぶりにマイナスしたが、その他はプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.1	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	3.1	0.3	8か月連続プラス
婦人服・洋品	1.6	0.3	3か月連続プラス
子供服・洋品	1.5	0.0	3か月連続プラス
その他衣料品	0.4	0.0	2か月連続プラス
衣料品	1.9	0.7	3か月連続プラス
身のまわり品	4.0	0.6	3か月連続プラス
化粧品	6.9	0.4	4か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	5.0	0.3	4か月連続プラス*
その他雑貨	－3.6	－0.2	3か月ぶりマイナス*
雑貨	2.9	0.5	4か月連続プラス
家具	4.0	0.1	2か月連続プラス
家電	68.6	0.4	4か月連続プラス
その他家庭用品	－1.1	0.0	3か月ぶりマイナス
家庭用品	6.8	0.4	3か月連続プラス
生鮮食品	0.6	0.0	5か月連続プラス*
菓子	4.5	0.3	4か月連続プラス*
惣菜	4.5	0.2	10か月連続プラス*
その他食料品	1.9	0.1	2か月ぶりプラス*
食料品	3.0	0.7	4か月連続プラス
食堂喫茶	1.9	0.1	3か月連続プラス
サービス	－9.1	－0.2	4か月ぶりマイナス
その他	－15.2	－0.5	2か月ぶりマイナス
商品券	－40.1	－1.9	13か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>